

編集後記

昨年は香港大学專業進修学院と香港日本語教育研究会の共催で第10回国際日本語教育・日本研究シンポジウムが開催され記念すべき年となりました。国際シンポジウムは1994年に第1回が香港城市大学で開催されて以来、香港大学、香港中文大学、香港理工大学と場所を移し、返還をまたぎ20年に渡って香港の日本語教育と日本研究の学生や研究者が集まる貴重なプラットフォームとなっています。特に昨年度は社会人学習者の育成に一日の長がある香港大学專業進修学院で開催され、多くの社会人日本語学習者が存在する香港において有意義なシンポジウムとなりました。

上記のシンポジウムで多忙の中、様々な方々の協力を賜り日本学刊18号も無事出版することができました。この場を借りて貴重な原稿を送って下さった投稿者の皆様、研究の合間を縫って審査して下さいった外部査読者の先生方、原稿の誤字脱字を丁寧に指摘して下さいった編集委員の皆様に深く感謝申し上げます。日本学刊を毎年度刊行することができるのは皆様が貴重なお時間を割いてご協力してくださっているおかげです。

今号では、論文3本、研究ノート2本、報告6本（実践報告3本と報告3本）、学生・院生の研究ノート3本、随筆2本、書評1本を掲載することができました。論文のカテゴリーでは思想に関する論文を1本、そして言語に関する論文を2本掲載するに至りました。日本学刊は日本語・英語・中国語の3言語での投稿を受け入れております。また大学院生からの投稿も奨励しております。

日本学刊18号が本誌を手にとって下さった皆様にとって有意義なものとなるよう編集者一同心から願っております。香港日本語教育研究会シャノン・ウォン氏は厳しい出版スケジュールの中、レイアウトや査読の連絡を助けて下さいました。彼女のおかげで無事出版に至ったことを感謝と共にここに記します。

編集委員長 青山 玲二郎

2015年3月吉日